

加太小学校だより



令和5年
11月16日
No.14



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

練習の成果を発揮した音楽会

木々の葉も見事に色づく季節となり、寒さが一段と増してきました。少し体調を崩し気味の子もいますが、現在、子どもたちは、2学期の大きな行事の一つである加太秋まつりに向けて準備を進めています。

学校行事では、子どもたちが集団として一つのことに取り組み、様々な課題を解決しながら多くのことを学んでいきます。先日行われた小中音楽会では、1学期から音楽の時間に少しずつ練習をしてきた「つばさをください」「君をのせて」の2曲を全校児童で合唱しました。練習の過程では、違うパートの音程につられてしまったり、優しく丁寧に歌えなかったりすることもありました。しかし、音楽会では、一生懸命にがんばって歌っている低学年をバックアップするかのように後ろから高学年が声量のある歌声で包み込んでくれました。最後まで集中を切らさず、心一つにして歌声を客席にしっかりと届けてくれた子どもたち。今までの練習の成果をしっかりと発揮することができました。子どもたちが、努力をし、その結果つかんだ成功だったと思います。この達成感を今後の糧として、更に成長してほしいと願っています。



スマホ・ケータイ安全教室 ～ネット・ゲームの上手なつき合い方～

先日は、加太小学校教育懇談会へのご参加ありがとうございました。今年度の教育懇談会では、KDDIの方と亀山警察署生活安全課の方にお越しいただき、3年生以上の子どももお家の方と一緒に「ネット・ゲームの上手なつき合い方」について動画を視聴しながらお話を聞きました。

かつて、主なコミュニケーションの方法は、「会うことにより話す」「電話で話す」「手紙を書く」という、人と会ったり、文章を書いたりという方法でした。そこでは自然に上手な話し方や書き方という言語活動を身に付けていきました。

しかし、急速な SNS の普及により、相手の顔が見えないままのコミュニケーションが一般的になってきているのが現状です。ネットや SNS では、送り手の心が伝わりにくい問題があります。顔が見えていると、その人と心を通わせることができますが、相手と自分の心につながりがない場合は、いじめにもつながることがあります。また、ネットに触れていないと不安に感じるという子どもの「ネット依存」が社会的な問題にもなっています。今回のお話を参考に日頃の生活をふり返り、ネットとのつき合い方や時間の使い方等をご家庭で考える機会になれば幸いです。

～子どもたちのふり返りより～

- ・自分と同じ小学生がインターネット関係でトラブルに巻き込まれていることがわかりました。
- ・スマホは便利な物だけど、使い方を誤ると危険なことになることがわかりました。
- ・ネットを使う時には年齢などの情報が本当なのか疑うことも必要だとわかりました。ネットに依存せず勉強と両立していこうと思いました。以前、勉強より先にゲームをしてしまって寝られなかったということがあったので、そのようなことがないように気をつけようと思いました。

業間かけ足運動 がんばっています

11月13日から12月1日まで月・水・金の業間休みにかけ足運動を行っています。1周目は全員が同じペースで、2周目からはそれぞれ各自のペースで5分間歩かず走り続けることを目指しています。子どもたちの中には、1周でも多く走ろうと、業間のかけ足運動の時間だけでなく、昼休みや他の曜日にも懸命に走っている子が多くいます。これからも自分の目標に向かって粘り強く取り組んでいってほしいと思います。

